

学校運営協議会だより

2023. 2. 28
町田市立町田第六小学校
会長
校長

第4回 学校運営協議会が2月4日（土）に開催されました。各協議委員の皆様からいただいた教育活動に対するアンケートをもとに、本年度の振り返りと次年度に向けての協議を行いました。

協議内容

（1）学力の向上

- ・授業参観の機会が少なく、廊下からの参観もあり、評価が難しかった。
- ・昨年度の児童の学習状況と比較して見ている。
- ・保護者は学校での様子を見えているようで見えていない。だから評価が中間になる。
一方、児童は明らかである。学習状況は学年により差がある。学級が落ち着いていると学習に素直に向かう。
- ・家庭学習では、ナビマを使うのでプリントと違い、点検できない。保護者が間違いを教えることができない。
- ・大根販売では、葉をもって子供が自分で運ぶ。さつまいも栽培では、うねづくりから子供も関わる。つるあげも自分たちでやる。家庭科では、子供が自分で考えてこういう作品をつくりたいという思いを大事にして、作りたいものを作らせたいと先生方が考えている。お手伝いする側も試作し、その子が作れるように手伝った。

（2）豊かな人間性の育成

- ・行事の取組に工夫が見られた。教員の持ち味を生かし、もう一段上を目指す発表を期待する。
 - ・学芸会では、大道具小道具を昔ながらに先生と子供たちが関わって作るなどできるとよい。
- 学習に関することを発表する機会としているので、全て劇を行っていた頃のような行事とは変わってきていることをご理解いただきたい。
- ・先生方が子供に寄り添って支援している。
 - ・男の先生だということを聞くそうだが、力づくで指導されるのでないとよい。
 - ・何かあると学校から連日連絡があるのがきついという声も聞く。
→怪我の場合は双方の保護者に連絡をしなければならない。
 - ・子供は動物である。目の前に立つ人で判断する。抱きしめるしかない。
問題行動をとる子供について、いいことをやることがないという前提で、大人が子供に接していないか。いいことを保護者に伝える。否定では聞く耳をもたない。

（3）体力の向上

協議会では特段ご意見は出ませんでした。委員の皆様アンケートのまとめをご参照ください。

（4）家庭・地域との連携

- ・欠席連絡がGoogleフォームになり、とても楽になった。出勤途中に学校に電話しなくてよかった。
PTAの仕事をするようになり、学校のことがよく分かるようになった。地域の方々がいかに子供たちの教育活動に尽力くださっているかがもっと保護者に伝わるとよい。

- 先生の顔と名前が一致せず、評価が難しかった。以前は先生方との懇談の機会があったので、ぜひ設定してほしい。
→来年度は夏季休業中に教職員と委員の方々が懇談できる機会を設定する。
- 地域協働活動について、協力していただける保護者には学校を理解してもらう機会としたい。

今年度、本校の教育活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

学校運営協議会委員の皆様からのアンケート結果を反映した「2022年度学校経営計画・学校評価表」をホームページに掲載します。紙面をご希望の方は担任までお申し出ください。これらを次年度の学校経営計画に反映し、教育計画を作成します。